

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	高岡 哲子		
入学年度	平成 25 年度	学籍番号	13GG602
領 域	健康支援科学	分 野	老年保健学
審査委員	主 査	和田 一丸	
	副 査	丹藤 雄介	
	副 査	大津 美香	
	副 査	木立 るり子	

論文題目： 一般病棟入院高齢患者のうつ状態を看護師が判断するための尺度開発

審査結果要旨：

本研究は、一般病棟に入院している高齢患者のうつ状態を看護師が判断するための尺度を開発することを目的に行われた。本研究は 3 段階で行われ、第 1 段階では看護師 22 名を対象に半構成的面接を行い、得られたデータの分析により、計 63 項目の質問項目の素案を作成した。第 2 段階では、専門家の意見の聴取、看護師によるプレテストを通じて、質問 48 項目の尺度原案 Nurse Administered Depression Scale for Elderly Inpatients 48 (NDE48)を作成するとともに、得られたカテゴリーと既存の尺度および先行研究との比較検討を行った。第 3 段階では、一般病棟入院高齢患者 54 名を対象に看護師が測定した NDE48 の測定結果を分析対象とし、クラスター分析の階層法と非階層法、探索的因子分析による構成概念妥当性の確認などを通じて、最終的に 3 因子質問 16 項目を採用し、これを NDE16 とした。3 つの因子は、「MR1：感情抑制困難の状態」、「MR3：思考静止状態」、「MR2：無力感の表出」と命名した。既存の自記式尺度との比較検討などを通じ、NDE16 の信頼性、妥当性は得られたと考えられた。以上の結果から、本尺度が他者式であり入院高齢患者に心理的負担をかけることなく測定できるとともに、質問項目が 16 項目となり看護師にとっても負担なく入院患者のうつ状態を測定できる可能性が高いと判断した。学位審査会において、本学位審査論文は論文題目に関わる研究内容を系統的に記述しており、今後の看護学の展開に関する新たな知見を含んでいると認められ、質疑応答も適切であったことから、博士の学位に値する研究であると認められる。

最終試験 平成 29 年 7 月 24 日

試験の結果は 合 格 ・ 不 合 格 と判定する。